

農業振興地域農用地区域除外申出書

令和 ○○年○○月○○日

川南町長 殿

申出人 住所 川南町大字川南○○○番地○
(事業計画者) かわみなみ たろう
氏名 川南 太郎 印
電話 0983-27-○○○○

土地所有者 住所 川南町大字川南○○○番地○
(※申出人と異なる場合) かわみなみ はなこ
氏名 川南 花子 印
電話 090-○○○○-○○○○

申出者と土地所有者が異なる場合、土地所有者欄にも署名・押印のこと。申出者と同一の場合は不要。

1 除外を申し出る土地の表示

土地の所在			地目		面積	除外面積	用途区分
大字	字	地番	台帳	現況	(㎡)	(㎡)	
川南	△△△	○○○番地○	畑	畑	1000	600	畑
左の面積のうち、除外が必要な面積を記入する。					田・畑・樹園地・採草放牧地・混雑林地・農業用施設用地のうち現在の用途区分を記入すること。		

2 申出の理由

農業従事者である次男が、親とは別棟の住宅を新築するため。

3 当該地を選定した理由

現在は両親と同居しているが、子どもが増え現在の家では手狭になってきた。

将来的には両親の農業経営を継承する予定であり、両親が要介護となった場合に備え実家の近隣に住宅を建設することで安心して営農を継続できると考え、当該地を選定した。

申出地以外の土地についても検討したが、結果として申出地以外に代替することができない理由を具体的に記入すること。

4 代替地の検討結果

図面番号	所在地	所有者	地目	面積(㎡)	交渉の経緯及び結果
1	川南町大字川南○○番地○	○○ ○○	雑種地	630	今後も駐車場として利用するとのことで断念。
2	川南町大字川南○○番地○	○○ ○○	宅地	550	既に買い手が決まっているとのことで断念。
3	川南町大字川南○○番地○	○○ ○○	山林	580	防風林として必要であるとのことで断念。
4	川南町大字川南○○番地○	○○ ○○	宅地	500	売り渡す予定はないとのことで断念。
5	川南町大字川南○○番地○	○○ ○○	雑種地	700	土地の形状が悪く住宅建築には不適。

(注) 1 代替地の検討箇所について示した図面を添付すること。
2 代替地は、農用地区域外の土地を検討すること。

5 事業計画の内容(施設の種類・規模等)

施設の種類:農家住宅の建設

敷地面積:600㎡(住宅150㎡、倉庫兼車庫60㎡)

配置:別添のとおり

6 事業計画スケジュール

令和〇〇年〇〇月農地法5条申請予定

令和〇〇年〇〇月着工予定

令和〇〇年〇〇月完成予定

土地改良区の担当者の押印

除外申出及び転用の許可を受けるまでの期間を考慮し、おおよそのスケジュールを記入すること。

7 土地改良区との協議の状況

土地改良区名	受益地地番	受益地からの除外見込みの有無	受付者印	備考
川南原土地改良区	大字川南字△△△〇〇〇番地〇	有・無	担当者印	理事会での承認を確約するものではない。
尾鈴土地改良区	なし	有・無		「受益地外であることの証明」を添付する。

(注) 1 「受益地からの除外見込みの有無」「受付者印」「備考」欄は土地改良区に記入依頼すること。

2 受益地地番がない場合には「受益地外であることの証明」を添付すること。「除外見込みの有無」欄は記入不要。

3 受益地からの除外見込みが「有」の場合でも、理事会等において承認が得られなかった場合には除外できない。

8 その他

(1) 付近の土地・作物・家畜等の被害防除施設の概要

境界にブロックを積み、雨水等排水は前面道路の排水路へ放流することで周辺農地への被害を防止する。

(2) 土地基盤整備事業の状況

土地基盤整備事業を実施中の土地、及び当該事業が完了した年度の翌年から起算して8年を経過していない土地ではない。

(3) その他参考となる事項

申出地に隣接する土地の所有者の同意を得ており、道路法等、その他該当する法令についても必要な手続きをとることで調整済みである。

9 添付書類

(1) 申出地の位置図

(2) 事業計画の配置図

(3) 14条地図(写し可)

(4) 土地登記簿謄本(写し可)

(5) その他必要な書類